

# 青木紀久子

# 9/28 2017 (木)

Kammermusik Konzert

開場 P.M.6:00 開演 P.M.6:30

室内楽の夕べ ウィーンの響き

後援 日壇協会 日本ブラームス協会



クリストフ エーレンフェルナー (ヴァイオリン)  
Christoph Ehrenfellner - Violin

青木紀久子 (ピアノ)  
Kikuko Aoki - Piano

富岡 廉太郎 (チェロ)  
Rentaro Tomioka - Cello

ヘルベルト ミュラー (ヴィオラ)  
Herbert Mueller - Viola

J.S. バッハ: ヴァイオリンとヴィオラのための二声の対位法 フーガの技法より BWV.1043

J.S. Bach : Contrapuncti a 2 voci, aus 'Die Kunst der Fuge' BWV. 1043

W.A. モーツァルト: ピアノ三重奏曲 K.502

W. A. Mozart : Kraviatrio K. 502

M.I. グリンカ: ヴィオラとピアノのためのソナタ

M. I. Glinka : Viola & Klavier Sonate

G. フォンアイネム: ヴィオラ ソロソナタ op.60

G. von Einem : Viola, 'Solosonate' op.60

L.v. ベートーヴェン: ピアノ四重奏 WoO36 Nr. 3

L.v. Beethoven : Klavierquartett WoO 36 Nr. 3



チケットお取り扱い お問い合わせ

¥4,000 全席自由

青木 kikuko.klavier@gmail.com

会場 AMBIENTE アンビエンテ

東京都港区高輪 4-24-40 高輪プリンセスガルデン内

青木 紀久子 Kammermusik Konzert 室内楽の夕べ 2017

演奏者略歴



青木 紀久子  
Kikuko Aoki  
ピアノ / Piano

東京藝術大学附属高校ピアノ科を経て、同大学ピアノ科を卒業。  
読売新人演奏会に出演。ドイツ・エッセン市folkwang芸術大学マスターコースに留学、翌年同大学院を首席で卒業。在学中西ドイツ放送に出演。帰国後ソロリサイタル開催。武蔵野音楽大学講師を務めた。東京ソリストとモーツァルトコンチェルトシリーズ等で共演。日本ブラームス協会においてソロ、トリオ、アンサンブルに多数出演する。又NHK-FM放送にソロ、伴奏で演奏。1999年、2002年師デートレフ・クラウス氏とデュオリサイタル。2004年より定期的に室内楽リサイタルを行い、元バイエルン放送交響楽団コンサートマスターのエルネ・セバスチャン、元ウィーンフィルのチェロ奏者A.スコッチ、作曲家・指揮者としても活躍中のヴァイオリニストC.エーレンフェルナー、ウィーン交響楽団首席ヴァイオリン奏者H.ミュラーの各氏などと共演し好評を得る。又2005年にはチェコフィルハーモニー八重奏団のメンバーと共に演奏するなど、活発に室内楽演奏に取り組んでいる。小川富美子、松野景一、永井進、エヴァ・バルナトバ、デートレフ・クラウスの各氏に師事。



クリストフ エーレンフェルナー  
Christoph Ehrenfellner  
ヴァイオリン / Violin

ザルツブルク生まれ。ヴァイオリニスト・作曲家・指揮者。メキシコ・シティ・フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルト管弦楽団客演指揮者。2011年から2015年まで、シンフォニエッタ・バーデンの首席指揮者を務める。室内楽の演奏にも熱心で、ツックマイヤー・アンサンブル・ウィーン・ベルリンを率い国際的な音楽祭にも招かれている。また、作曲家としても、小澤征爾アカデミー、ムルハウス・シンフォニー・オーケストラ、音楽祭バルムクラングなどに招聘されている。最近ではドイツ・ノルトハウゼン歌劇場の招聘アーティストとして、2017年に向けてオペラ・バレエ・交響曲の作曲を手掛けている。スンマ・クム・ラウデ国際青少年音楽祭コンクール常任審査員。日韓文化協会名誉会員。2015年より、アレグロ・ヴィーヴォ国際室内楽音楽祭で、若き音楽家たちのオーケストラ・室内楽クラスの指導責任者を務めている。グラーツ音楽大学ではオーケストラで後進の指導にあたる。



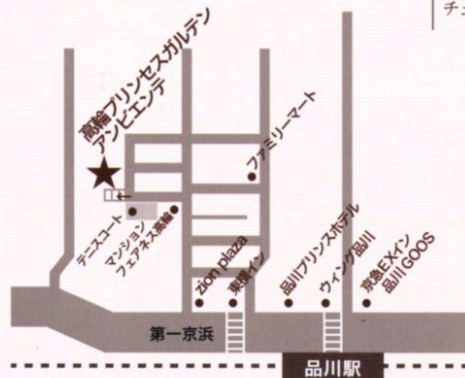
ヘルベルト ミュラー  
Herbert Mueller  
ヴァイオラ / Viola

1957年ウィーンに生まれる。1981年ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学を首席で卒業、その後ウィーン音楽大学にてジークフリート・フェーリング教授に師事。1980年よりウィーン交響楽団に所属。1986年首席ソロ奏者となる。ヴィエニャフスキ・ルブリン・フィルハーモニー管弦楽団、エジプト、ウクライナ、ボルトガルなどを頻りに訪れ、ソロ奏者としても国際的に活躍している。室内楽でも、長年に亘りグリーンカ・アレンコフ・カルテットや、ウルフ・ヴァリンが首席ヴァイオリンを務めるウィーン・コンセルティノ室内楽団とともに、トリオからオクテットまで幅広く演奏。国内外の音楽祭（プレゲンツ音楽祭、エンガディン音楽祭、ワロニア・フェスティバルなど）にも参加し、ヨーロッパ各国・アメリカへのツアーを行った。近年ではクレス・ミュラー・スコッチ弦楽トリオ、ウィーン・東京カルテットで活躍。1994年ウィーンコンセルヴァトリウム音楽大学教授に就任。



富岡 廉太郎  
Rentaro Tomioka  
チェロ / Cello

1986年札幌市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学を経て、パーゼル音楽院MASPを修了。チェロを上原与四郎氏、毛利伯郎氏、弦楽四重奏をRainer Schmidt氏に師事。2006年ウェールズ弦楽四重奏団を創立。2007年いわみミュージックアカデミーIMA音楽賞受賞。2008年ミュンヘンARD国際音楽コンクールカルテット部門で日本人のみで結成されるカルテットとしては、東京カルテット以来38年ぶり第3位。2011年第7回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門第3位。2012年ドイツ、シュヴェツィンゲン音楽祭に出演。ウェールズ弦楽四重奏団の活動や、主要オーケストラの客演首席を始めとし、国内外の多数のコンサート、音楽祭に出演。2014年6月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 客員首席チェロ奏者。



会場： **AMBIENTE アンビエンテ**

東京都港区高輪 4-24-40 高輪プリンスガールデン内

03-3443-1521

最寄り駅 JR品川駅(高輪口) 徒歩6分

JR品川駅(京急品川駅)高輪口(西口)から出て駅前の第一京浜国道の左手信号を渡り左折。国道に沿って進みます。右手にホテル東横インを通り過ぎ、ZION PLAZA 建物の角を右折。電柱の案内板を目印にしながら進む。200M程歩き左折。突き当りの洋館(オレンジ色)横の階段を昇った左手の建物(ピンク色)になります。